



鈴鹿の風

2013.5

第18号

ごあいさつ MRI撮影第一号
院長 小長谷 正明

新人ナース・新任者紹介

不整脈について
生き生き健康講座が開かれました
当院のMRIについて
地域医療連携室だより

トピックス

Information
職員の輪

写真「鈴鹿病院の歴史を見てきた1本桜」

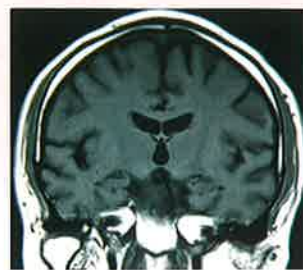
病院理念

- 私たちは、国民に奉仕する立場から、政策医療である筋ジストロフィー・重症心身障害・神経難病の分野において、患者様本位で質の高い専門医療を提供します。
- 私たちは、充実した医療と健全な経営を心掛け、常に意識改革を怠りません。

ごあいさつ MRI撮影 第一号

独立行政法人国立病院機構 鈴鹿病院長

こなが や まさあき
小長谷 正明



昨年秋の、新外来診療棟の完成に合わせて、念願のMRIを導入しました。それもシーメンスの最新式のタイプです。本心は3テスラでも、費用対効果を考えて1.5テスラに踏みとどめました。東海北陸厚生局からMRIの使用許可がおりると同時に、放射線技師長から始運転撮影の第一号に指名され、返事を逡巡していると、たたみかけられました。

「大抵の病院では、こういう場合は院長先生が率先します。機械も喜びます」

以前、ある先輩ドクターの頭部CTを見て、明らかな前頭葉萎縮があり、愕然としたことがあり、また、自分のMRIを決して人に見せない教授の話聞いてもいます。病気でもないのに脳の画像検査は、病院長や教授には剣呑な話ですが、無駄な抵抗をせずに、大人しくMRI室に行き、検査台に横たわりました。

このMR機の撮影トンネルは従来より直径が大きく70センチあり、よく言われるような圧迫感はありません。体の変形が強い筋ジスや重心の患者の、どの部位の撮影でもできるように、大直径の機種を選びました。

やがて、機械の作動音がし、やや高いブザーのような音がし、さらにギュンギュンギュン、グリユルウグリユルウグリユルウと色々な音が次々と耳に飛び込み、船のエンジンのような音もあります。カンカン音は、耳栓のためか遠くの鐘のようで、私にとっては、やっと人並みの病院に近づいたことへの祝福に聞こえました。

まだ若い医長の頃、どうしてもMRIを撮りたい患者さんが沢山いて、近隣の病院に自分で連れて行った時期があります。それで、論文を一流英文ジャーナル英文雑誌に出せましたが、実は外の病院のMRIですとは、学会のディスカッションで素直に言えませんでした。

カンカン音を聞きながら、今頃、私の脳が可視化されているんだなと思っていると、体がちょっと熱くなったような気がします。MRIは、電子レンジと同じく、磁場をかける装置だそうで、試運転のMR機が突然暴走してレンジに変わってしまった

たらどうなるのだと、一瞬考えました。ま、どの道、この秋は、病院運営や国立病院機構関係、学会や難病関係のことなどで多忙の極みで、脳みそはムニエル・グラタン状態、グチャグチャに煮えていて、膨らんだフォアグラのようになっていても不思議はないと開き直りました。

30分ほどして検査が終わり、すぐにモニターの前に行くと、この機械の初めての脳の画像が映し出されています。まずここが自分の意識と統合機能の座かと、前頭前野に目をやり、異常がないのを確認しました。頭蓋腔全体に余分な隙間はなく、脳血管障害の既往の所見はなかったし、動脈瘤も動脈硬化性の変化もなく、運動神経が鈍い割には小脳系もしっかりしていました。

自分だけで判定していても不安だから、神経内科のドクター2人来てもらいましたが、ちらっと眺め、ええ、とうなずき、つまらなそうに読影室を出て行きました。密かに準備していた、ある高名な教授と同じ言い訳はいらなくなりました。その先生のCT試運転画像で脳萎縮に愕然としている医局員を前に、おっしまったという。

「常日頃、僕が言っているように、大事なことは脳の体積ではなく、どう使うかということの証拠だよ!!」

いずれにしろ、画像の上においては、職員に院長の職務能力に不安を呼ぶことはないでしょう。

MRIは、脳や身体各部分を、縦方向、横方向、あるいは垂直方向と、いろいろな断面で画像化できます。また、撮影のモードを変えると、炎症や、血管障害（それも新旧がわかる）などの病気の状態や、血管そのものも映し出します。心臓の筋肉の状態や、脊椎や脊髄、骨や関節、その他あらゆる内臓を立体的に把握できます。私が若い頃などは、脳の血管造影や、脊髄造影などは、患者さんに負担が大きく、時には事故になりかねないような検査でした。それが、寝ているだけで済むようになったのです。

これからは、MRIを使って、より診療のレベルを高進して行こうと思います。



新人ナース紹介



なかにし みき
中西美喜 第1病棟

患者様の小さな変化に気づき、気配りのできる看護師になれるよう1日でも早く患者様の名前や顔を覚えて日々勉強していきたいと思ひます。



やまぐち まさし
山口真司 東1病棟

患者様ひとりひとりの個性に合う看護を行っていきたくひです。また、患者様の気持ちを理解しながら関わっていきたくひです。



きたの あいり
北野愛理 東1階病棟

細かな観察力を身に付け、患者様ひとりひとり個性のある看護を提供していけるように頑張ります。



かわい ゆみ
川合有美 東1階病棟

患者様の個性を大切に、ひとりひとりの思ひを理解していけるようになりたくひです。そのためにも患者様と積極的に関わりながら看護をしていきたくひと思ひます。



いとう しんや
伊藤真也 東1階病棟

チームの一員として細やかなことにも気が付き、気配りのできる看護師になりたくひです。



せきもと しおり
堀本詩織 西1階病棟

心のこもったケアができる看護師になれるよう日々勉強していきたいと思ひます。また、一人の看護師としての責任を自覚して働いていこうと思ひます。



かわい ひろき
川合弘記 西1病棟

患者様ひとりひとりの個性を大切に、思ひを表現できるような看護師になりたくひです。



きくた ちな
キクタ千夏 西1階病棟

患者様ひとりひとりの気持ちに寄り添った看護が行えるよう、日々技術や知識を身に付けていきたくひです。



すだ いちこ
須藤一子 東2階病棟

患者様に優しく接する事のできる看護師を目指して頑張りたいと思ひます。また早く患者様の名前を覚えてチームの一員として援助できるようになりたくひです。



ひの みゆき
日野美幸 東2階病棟

これから沢山の知識や技術を身に付けて患者様の思ひを汲み取り、寄り添う看護をしていきたくひと思ひます。頑張ります！！



しまむら なな
島村奈菜 東2階病棟

患者様ひとりひとりの気持ちを汲み取り、患者様の立場に立って物事が考えられるような思ひやりのある看護師へと成長していきたくひです。



さかぐち しおな
坂口詩唯奈 西2階病棟

患者さまの思ひを汲み取ったり、気づいていけるような看護師になりたくひです。そのため日々患者様を観察し、知識・技術を身に付け向上心を持って頑張っていきたいと思ひます。



しんむら りか
新谷里香 西2階病棟

言語的コミュニケーション、非言語的コミュニケーションを大切にして患者様と関わり、患者様の成長発達を促せる看護がしたいです。また、患者様に信頼される看護師になりたくひです。



4月から鈴鹿病院の新しい顔になりました。どうぞよろしくお願ひいたします！

新任者の紹介



の ぐち まさ ひろ
野口 雅弘

職名 内科医師

名古屋医療センターから赴任しました。当院には、平成15年から平成22年までの約7年間の勤務経験があります。3年ぶりの鈴鹿病院は、病棟だけでなく外来診療棟も新しく建て変わり、以前の面影は殆ど残っていませんでした。ただ院内で顔見知りの職員から声をかけられ、何となく落ち着いて医療が行える雰囲気は変わらないと感じています。

私自身は呼吸器内科から始めた今までの臨床経験をもとにして、当院において難病患者さんへの緩和医療的な対応や筋ジストロフィー患者さんへの認知・心理的なアプローチが出来ないものかと考えています。

微力ではありますが、これから鈴鹿病院の専門医療に貢献出来るよう診察に携わりたいと思っています。よろしくお願いいたします。



まえ しま しん や
前嶋 伸哉

職名 神経内科医師

名古屋大学神経内科から赴任しました。鈴鹿病院は、他病院では経験できない筋ジストロフィーなど筋疾患の患者様が多くおられ、経験不足で何かとご迷惑をおかけするかと思いますが、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



かぎ たに かず こ
鍵谷 和子

職名 看護師長(外来)

三重中央医療センターから赴任して参りました。以前平成19年3月まで当院に勤務させていただきました。

外来管理診療棟に勤務させていただいています。外来は、当院の顔となるところです。笑顔で絶やさず、安心して診療を受けていただけるよう外来看護の質の向上に向け

スタッフと共に頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



にし お ひろ なり
西尾 裕成

職名 看護師長(東2階病棟)

三重中央医療センターから赴任し、重症心身障害児者病棟で勤務させていただきました。

鈴鹿病院付属看護学校を卒業し、十数年経過しました。新築され綺麗な病院を見て驚きはありましたが、青春時代を過ごしたこの場所が懐かしく感じられます。

未経験の分野、新しい環境で至らないことも多くあるかと思いますが、スタッフと共に患者様の生活の質が向上できるよう一生懸命頑張っていきたいと思っております。どうぞ、よろしくお願いいたします。



くさ かわ のぼる
草川 昇

職名 調剤主任

三重中央医療センターより赴任して参りました。正面玄関から開放的で薬剤科内は広々とし、きれいな環境だなというのが第一印象です。

今年度は、電子カルテ導入が控えており薬剤科としても重要な年になると思えます。まだまだ不慣れなところが多く、皆様にご迷惑をおかけすると思えますが、温かい目でご指導よろしく願いいたします。



わた なべ ひろ み
渡邊 宏美

職名 細菌血清主任

検査科に配属されました渡邊宏美です。私は以前、民間のクリニック、検診センターを経て国立病院機構名古屋医療センターで7年勤務しておりました。

その間には2年間カンボジアに青年海外協力隊として赴任しており、カンボジア語が話せます。10年以上前の記憶でよろしければ東南アジアのご相談を承ります。鈴鹿病院での専門性を理解し、少しでも多くの方に役立てればと思っております。たくさんの方にお手数をおかけしておりますが、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。



むら まつ じゅん こ
村松 順子

職名 主任児童指導員

三重病院より赴任して参りました。4年前、新病棟の建設が始まったころに転出したので、綺麗になった鈴鹿病院で勤務でき嬉しく思います。筋ジストロフィーの患者様の多くも変わらず過ごされていて、医療の力に感嘆しています。

普段の息抜きは、子どもの携帯ゲームで「釣ったり採ったり」することぐらいですが、月1回アンサンブル・ルンデという団体で、楽器演奏をしたりもしています。新しい建物に相応しく、患者様の笑顔が曇ることのないよう、しっかり職務を果たしたいと思っております。今後ともよろしくご指導の程、お願いいたします。



かわ い なお き
河合 直樹

職名 算定・病歴係長

この度、算定病歴係長に着任しました河合と申します。医事の経験は、以前少し算定をしていた程度ですが、今回はレセプト関係だけではなく、施設基準の検証や届出、多くの会議に出席する等、非常に重要な業務を担当します。

鈴鹿病院は医療と福祉の両輪で成り立っていて、制度を理解するのも大変ですが頑張っていきたいと思っておりますのでご指導よろしくお願いいたします。



あさ ひ な じゅん べい
朝比奈 純平

職名 診療情報管理士

4月1日付けで鈴鹿病院の診療情報管理士として採用されました、朝比奈純平です。よろしく申し上げます。

診療情報管理士って何をする人?とよく聞かれるのですが、診療録のライブラリアンとして診療録の、またその中の診療記録を管理運用していきます。適切な管理を行い、導入が予定されております電子カルテの速やかな導入・運用ができますよう努めて参りたいと思っております。



不整脈について

不整脈とは一般的には脈の乱れを指します。そのほとんどは放置しても構わないものですが、時には非常に危険でありすぐに治療をしないと命に関わるものもあります。

通常心臓は1分間約60~100回の規則的なリズムで拍動を繰り返していますが、このリズムは右心房にある洞結節というところで作られます。ここで発生するごく微量の電気が心臓に備わっている刺激伝導系という経路を伝い、心房から心室に伝達される事によって心臓は正しく拍動することができるのです。(図1) 不整脈とはまさにこの刺激伝導系になんらかの異常が生じた状態なのです。では、いったいどんな不整脈があるのでしょうか？

一番多いのは期外収縮という不整脈です。(図2) これは刺激伝導系以外の心筋から勝手に電気刺激が発生してしまう状態でその発生部位より上室性と心室性に分けられます。いずれの場合でも単発のものなら基本的には危険はありません。ただ数個以上連続して出る場合には時には治療が必要となることもあります。

心室性の場合には最悪心室細動(図3)を引き起こしてしまう事もあるので、その期外収縮が危険なものでないかホルター心電図(24時間携帯型心電図)できちんと調べる必要があります。

次に臨床によく問題になるのが心房細動という不整脈です。(図4) これには発作性に起こるものと持続性慢性的に心房細動が続く場合がありますが、高齢者になるほど持続性心房細動が増えてきます。病態的には心房細動では心臓の上部(心房)の中を電気刺激が不規則に回ってしまい、その電気の一部を心室が受け取るため脈拍は常に乱れた状態になります。また心房細動は一般的に脈拍が多くなりやすく時には1分間に150回以上の頻拍発作を起こすことがあります。心房細動があってもそのために生命が脅かされることはありませんが、人によっては心房内に血栓が出来てしまいそれが脳に飛んで脳塞栓を起こすことがあります。

刺激伝導系の一部で電気が伝わらなくなる状態をブロックと言います。そのうち房室ブロックというものが起こると、時として脈拍が非常に遅くなってしまったり突然死したりすることがあります。その場合には緊急で人工ペースメーカー(図5)を挿入しなければなりません。房室ブロックの原因としては急性心筋梗塞や心筋炎、心筋症、膠原病や高カリウム血症、薬剤性のものなどがあります。突然フワッと一瞬意識がなくなったり突然倒れたりするという症状の原因が実はこ

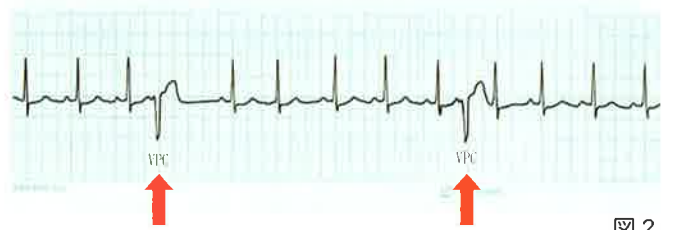


図2

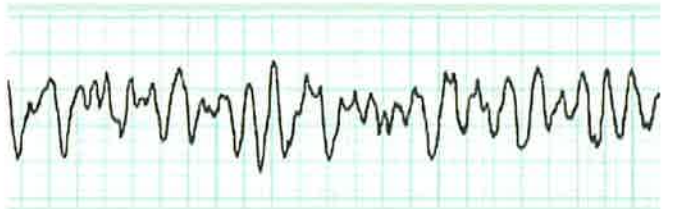


図3

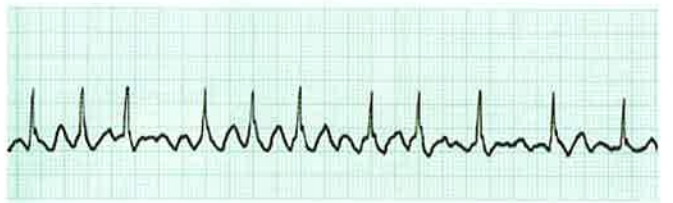


図4

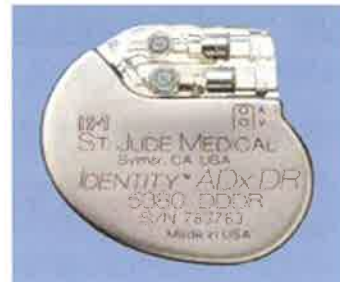


図5



図6

の房室ブロックであったという事も時に経験します。それゆえこのような症状が見られたら脳の検査をするのと同時にホルター心電図を行い不整脈の有無をチェックすることが重要になります。

近年不整脈治療についても目を見張るものがあります。公共施設内にAED(図6)が設置してあるのをご存じの方も多いでしょう。また植え込み式除細動器といって小さなAEDを体内に植え込んでいつ心室細動が起こっても大丈夫という治療も行われています。発作性心房細動などで何度も何度も頻拍発作に襲われる人にはカテーテルアブレーションという方法があります。これは心臓の中にある電気の余分な通り道をカテーテルの先端で焼き切る一種の根治療法で近年目ましく発達してきました。

このようにこれまでいくら薬を飲んででも治らなかった不整脈も新しい治療によって根治できる可能性が出てきたのです。

不整脈は実は難しい病気です。特に危険な不整脈がどうかの見極めや危険な不整脈が見られた場合の治療法は専門医である私たちでも迷う事がしばしばあります。健診等で不整脈と指摘されたら放置せずに専門医の受診をお勧めします。

内科医長 棚橋 保

刺激伝導系の基礎知識

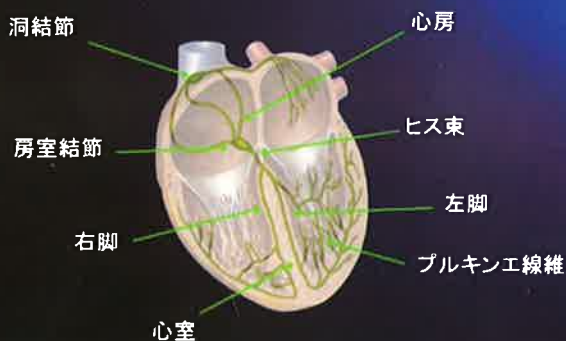


図1



生き生き健康講座が開かれました



平成25年3月14日(木)に中央病棟3階プレイルームにて「平成24年度いきいき健康講座」を開講しました。

この講座は医療を身近に感じてもらおうと毎年開催しており、当日は患者家族や地域住民ら約100名が参加しました。

第一部では、小長谷正明病院長より「認知症ってなんだろう?」と題して認知症についての知識を深めるとともに、認知症の予防や自動車の運転などについての講演を行いました。



小長谷病院長の講演で認知症についての知識を深めました



「ふまねっと」を使った転倒予防の運動体験を行いました

第二部では、古川^{きつと}十二条作業療法士より「バランス改善で転倒予防」をテーマとして「明日からではなく今日」できる運動の実技を行いました。

50センチ四方の升目を進みながら、リズムに合わせてステップを踏む「ふまねっと運動」では「次はどっちの足だっけ?」と四苦八苦される参加者も多く、会場は楽しく盛り上がりました。

当院のMRIについて

鈴鹿病院で行うMRI検査の中で最も検査数の多い診療科は神経内科であり、ひとりで歩く事や、検査ベッドに移る事が困難な患者さんは少なくありません。

当院のMRI装置は患者さんが検査ベッドに楽に移動できるようにMRI本体からベッドが着脱(外して移動)できるようになっています。また、従来の装置に比べてガントリ(装置のトンネル開口部)内部が広く、奥行きが短くなっていて、そして調光機能付きのライトを内蔵しているので圧迫感なく明るい場所で検査を受けることができます。

今までMRI検査が「暗くて狭い」と思い検査を受けていなかった方も是非一度鈴鹿病院に足を運んで相談されてはいかがでしょうか?



MRI本体からベッドが着脱可能



地域医療連携室だより

皆さん、こんにちは。4月1日より東1階病棟より地域医療連携室に配置換えとなりました看護師長の大本恵子です。

長い看護師生活の間で初めて病棟から離れることになり少し不安な部分もありますが、看護師の私が皆様のお役に立てることは何か?と考え、がんばりたいと思っています。

看護や介護の方法のご相談やアドバイスといった面で私が活躍できればと考えております。

何かあれば、地域医療連携室に来てみてください。お待ちしております。



地域医療連携係長
おもと けいこ
大本 恵子



永年勤続表彰を行いました

平成25年4月25日（金）病院スタッフを対象として永年勤続表彰を行いました。

今年度の表彰者は合計3名で、30年表彰として看護師 横田 由美子さん（東1階病棟）、保育士 今井 寿珠さん（東2階病棟）、20年表彰として看護師 林 幸弘さん（東1階病棟）に対して小長谷院長より表彰状と記念品を手渡しました。



病院研修会で知識を深める

当院では職員の医療知識を深めることを目的として、毎月定期的に病院研修会を実施しています。平成25年2月20日（水）には「医療安全」をテーマとして投薬・感染防止・医療機器についての研修を行い、3月13日（水）には「院内の骨折事故」、4月17日（水）には、「呼吸管理」について学びました。

各研修には、様々な部門からスタッフが参加し終始真剣な様子で学び知識を深めました。



INFORMATION

外構工事が完了し、外来診療棟東側の新しい駐車場のご利用が可能となりました。

この駐車場は外来患者様以外の一般来院者優先の駐車場となります。外来患者様は従来通り外来診療棟正面玄関前（北側）駐車場のご利用をお願いします。



職員の輪 (職員紹介)



手作りのシュシュはスタッフからも好評

中央西1階病棟 看護師 橋本 恵美 さん

平成24年11月より鈴鹿病院に勤務しています。以前は市内のクリニックに勤めていましたが、患者さんと深くじっくりと関わる看護がしたいと思い当院を選びました。

休日は自宅で手芸やビーズを使った小物作りを楽しんでいます。カラフルな手作りシュシュなどの作品は病棟スタッフ達からも大好評です。

やはりWBCのことに触れねばならないだろう。とても残念ではかたないのだけれど。前2回は、国際大会とはいえないが、韓国とばかり当たっていたような気がする。その韓国は今回予選で早々に敗退した。今回こそはと意気込んでいたはずのアメリカも決勝ラウンドには進めなかった。キューバも、決勝ラウンドには強と考えられていた国のうち、決勝ラウンドに勝ち残ったのは日本だけであった。とはいえ、日本も予選ではもたついて、格下（のはず）のプエルトリコや台湾相手に序盤リードを許し辛くも逆転勝ち。オランダ戦はホームラン攻勢で圧勝し、弾みがついた。はずだった。もうライバルはいない。後はプエルトリコ、ドミニカのカリブ海勢を撃破すれば夢のWBC3連覇達成！と期待が膨らんだ。いよいよ迎えた準決勝プエルトリコ戦。日本は絶対的エース前田健太が先制を許し、能見が2ランを浴びて0-3。追いつめられた日本だが、8回裏に絶好のチャンスが訪れる。今大会絶好調の井端のタイムリーで1点返し、内川も続いて1死1塁2塁。迎えるバッターは四番阿部慎之助。1発出れば逆転！という将に願ってもない場面。球場のボルテージが最高潮に達しようかというその瞬間、まさかまさか、まさかまさかのダブルスチール失敗。WBC3連覇の夢はあえなく潰えたのでした。僕自身ついつい入れ込み過ぎてしまうタイプなので、勝てば我がごとのように嬉しいけれど、負けるとそのダメージは大きい。後を曳く。せつかならドミニカと当たりたかった。ドミニカといえば、なぜフランコはDNAに行っちゃったんだ。ただでさえ中日は貧打なのに。おまけにソーサとソトも取られてしまった。でも代わりにルナとクラークとカブレラとブラッドリーとタルビッシュが活躍してくれば、まだまだ中日も捨てたものじゃないと思う今日この頃です。

平成オタタクマン
プロ野球編10
神経内科部長 久留 聡

◆ 外来診察担当表 (2013年5月1日現在)

	月	火	水	木	金
神 経 内 科	小 長 谷	酒 井	小 長 谷 前 嶋	小 長 谷	久 留
内 科 (循 環 器 科)	安間 (第1・3・5) 棚橋 (第2・4)	木 村	安 間 (循 環 器)	安 間 (循 環 器)	棚 橋 (循 環 器)
小 児 科		予 約			予 約
整 形 外 科		田 中 午後 (装具)			田 中
リハビリテーション科		田 中			田 中
歯 科	若 林	永 田	松 村		
皮 膚 科	予 約	予 約	予 約		予 約

- 外来受付は8:30~11:00、診療開始は9:00~です。
- 歯科は身体障害者の方に限ります。
- 装具外来は火曜日の午後1:30から整形外科で受付いたします(あらかじめ電話予約のうえお越し下さい)。
- 小児科外来は担当医とご相談のうえ、ご予約下さい。
- 土曜日、日曜日、祝祭日は休診です。

◆ 交通案内

- JR「加佐登」駅より徒歩8分
- 東名阪「鈴鹿」I.C.より車8分
- 近鉄「平田町」駅よりタクシー15分
- 三交バス(荒神山行き/椿大神社行き)
「加佐登神社前」下車すぐ
- 鈴鹿市西部地域コミュニティバス
椿・平田線「26加佐登神社」下車すぐ



◆ 編集後記

桜の時期が過ぎ、新緑が目にも鮮やかになってきました。
 ここ鈴鹿にも初夏らしい爽やかな風が吹いています。夏本番へ向けたカウントダウンがいよいよ始まりそうな季節です。

地域連携医療室

独立行政法人 国立病院機構 鈴鹿病院

〒513-8501 三重県鈴鹿市加佐登3丁目2番1号 Tel. 059-378-1321(代) Fax. 059-378-7083 <http://www.hosp.go.jp/~suzukaww/>

平成25年5月発行